



PLAY THE MISSION!

学生のSDGs活動紹介 ～世界とともに未来を創る～



さぬき再犯防止プロジェクト

さぬき再犯防止プロジェクトは、地域の方たちが安全に安心して暮らせる社会を作りだすために再犯を防止することを目的としています。再犯が行われるのは、身寄りや職、住居がない等の理由により、社会から孤立していることが主な原因とされており、その防止には「居場所と出番」をつくることが重要であると言われています。そこで、私たちは、様々な交流会を開催することで「居場所と出番」をつくるお手伝いや、映画の自主上映会開催など、差別なく彼らを受け入れる社会づくりに資する活動を行っています。



高原城址再生プロジェクト

香川大学直島地域活性化プロジェクトが活動する直島町に高原城址と呼ばれる広場があります。現在、その広場を管理する地元老人会の高齢化に伴い、高原城址はうっそうとしています。そこで、地域住民とともに再び人々が集まる明るい場所にするため、整備活動を開始しました。季節の草花や、瀬戸内海の景色など、高原城址の魅力を活かし、島民や観光客に立ち寄ってもらえる場所にしたいと考えています。また、高原城址を舞台として様々なイベントを開催するなど、より多くの方に高原城址の魅力を知ってもらうための活動も行っています。



脱炭素型ライフスタイルワークショップ 香大生のペットボトルキャップが世界を救う!?

香川大学学生ESDプロジェクトSteePでは、地球温暖化、環境問題、食品ロス問題等に取り組んでいます。所属学生の学部は様々で、環境の幅広い分野において日々学び広める活動を行っています。高松市の脱炭素型ライフスタイル推進事業のモデル事業の一環として委託を受けて計画・実施する「脱炭素型ライフスタイルワークショップ」や香川大学生へのSDGsにまつわる世界の諸問題に対する意識の啓発につながることを目標とした「香大生のペットボトルキャップが世界を救う!？」などの活動を行っています。



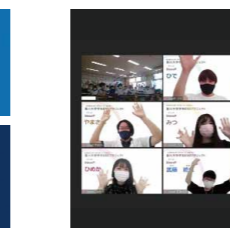
香川大学生の「さぬき市観光地域づくり懇談会」への参画

さぬき市「平賀源内旧邸」から「志度寺」まで続く東西の門前通り「源内通り」のかつての賑わいを取り戻すべく、地域のステークホルダーが協議し活動する「さぬき市観光地域づくり懇談会」の場に全学共通科目「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の一環でさぬき市班の学生が参画しています。大学生ならではの視点をもって参加することで、青少年から高齢者まで幅広い世代を包摂した取り組みを創出する一助となっています。



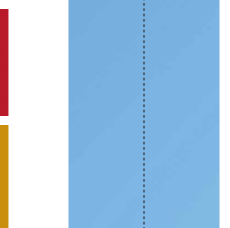
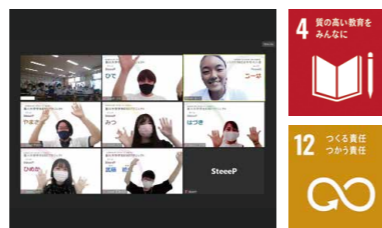
フードドライブ活動LOOP(るーぶ) ～つながる輪～笑顔の輪～

香川大学学生ESDプロジェクトSteePのメンバーが、高松市のライオン通り商店街Smile'sにおいて、定期的に家庭や商店等で使い切れない未使用食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈するフードドライブ活動を行っています。集まった食品は高松市社会福祉協議会に寄付しています。



海ごみ拾い親子ツアー ～僕たちは香川の海ごみ海賊団!3～

この活動は、香川大学学生ESDプロジェクトSteePのメンバーが企画・開催する、海ごみに関するイベントです。フィールドワークやゴミ拾いなどを通して県内の子どもやその保護者に、海ごみ問題を楽しみながら知ってもらい、海ごみ拾いのイメージを変換するとともに、海の大切さ、すばらしさを知ってもらう事を目的としています。



香川県内の小学生と香川大学生との交流

香川大学学生ESDプロジェクトSteePでは、毎年、県内の小学校へ赴き、気候変動を主とした環境問題やSDGsにまつわる授業を開いています。2021年中には2校の小学校と交流させていただき、オンラインでのクールチョイスに関する講義開催や、直接小学校の訪問を通してSDGsの活動をサポートしています。



在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者への 大学生によるオンラインミーティング

2018年に香川大学医学部サークルとして創設されたボランティアサークルは、2019年から在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者への対面による外出・生活支援ボランティアを開始しました。2020年からのCOVID-19によるサークル活動禁止期間を除き、対面活動をオンラインに切り替え、対人交流の少ない療養者へのオンラインミーティングを実施しています。より多くの患者さんと学生がプロジェクトに参加することで、互いに社会との繋がりをもち、地域で療養する患者さんのメンタルケアと学生の地域貢献意識の涵養に繋がっていきます。



【うどん県からカンボジアへ】 救えるはずの小さな命を救いたい!

香川国際協力NGO U-dawnでは、カンボジア現地NPO法人や現地医学生と連携・交流を通して現地情報を入手し、その情報を基に不足している医療機器をカンボジアの病院へ寄付するプロジェクトを立ち上げています。カンボジアでは、仮死状態の赤ちゃんを蘇生できる医療スタッフが少なく、新生児死亡率が日本の約14倍と高い状況です。そこで、医療スタッフのスキルアップに必要な機器を贈るためのクラウドファンディングを行い、支援を集めました。現在は、新生児蘇生研修会を開くための現地医師とのミーティングを重ねています。



有機野菜を育てるちよんまいガーデンプロジェクト ～幸町キャンパスにつながるの場をつくる～

「ちよんまいガーデンプロジェクト」は、2020年から有機野菜の課題解決に向けて、丸亀市のよしむら農園さんと連携し、有機野菜を広めることを目的に始まったプロジェクトです。現在は、幸町北キャンパスのアメニティ広場内にある小さな花壇で有機野菜を育て、InstagramやHPで魅力を発信し、学生や若い人たちに有機野菜を知ってもらうきっかけを作っています。2021年度はトマトや三豊ナスなどの夏野菜、大根や小松菜、キャベツなどの秋冬野菜を栽培しました。活動の詳細はInstagram(@chonmaigarden)から。



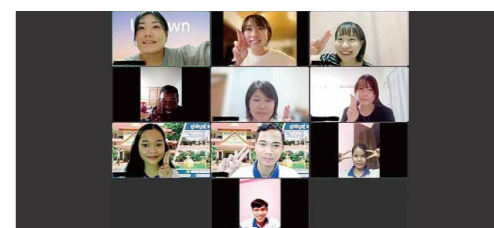
こいこい!【まちづくり】 農村カフェ・空き家改築・香川県就活企画

学生団体「koi-koi」は、2021年4月に発足した団体です。地域課題の持続可能な解決に向けて、学生と地域の方が協力し、香川で活躍できる若い担い手を増やすことを目的に始めました。これまで、自ら商品開発しマルシェに出店したり、香川の農業発信活動、空き家イノベーション、農村カフェの運営など様々な活動を大学生が地域の方と協力して行っています。部活動やボランティア活動とは異なる形で、地域に根差した新しい活動やおもしろい活動を生み出しています。詳細はInstagram(@koi_koi.kagawa)から。



高松市×香川大学×高松中央商店街で 楽楽ボードを作成

本事業は「高松市手話言語及び障害のある人のコミュニケーション手段に関する条例」に基づき、香川大学教育学部と高松市、高松中央商店街が連携して実施しています。発達障がいや聴覚障がいなどの障がいのある人や外国人等、話し言葉(日本語)によって自分の意思や気持ちを表すことが難しい人とのコミュニケーションを円滑にし、商店街での買い物を楽しめるよう「たかまつ楽楽ボード」を作成しました。これを契機として障がい者に優しいまちづくりが、より一層促進されることを目指しています。



カンボジアのゴミ問題を考える

香川国際協力NGO U-dawnでは、現在のカンボジアの問題についてアンコール大学の学生に調査しました。カンボジアでは、道端に捨てられたゴミで下水が詰まり、雨の日には道路が冠水してしまうことがあるなど、ゴミ問題が深刻だと考えている学生が多かったです。そこで私たちは、現地の学生と協力してゴミ問題解決に向けた取り組みを行うこととし、カンボジアと日本のゴミ事情やゴミ問題について情報交換する中で、問題点や具体的な活動(例えば、ゴミに関する知識の普及やゴミ箱の設置など)について議論を重ねる予定です。